

日誌 15

令和5年11月17日に新潟県税理士協同組合主催の「ChatGPTの活用事例と使用方法」の研修会がありましたので参加してきました。

そこで私も帰宅後、ChatGPTに次の質問してみました。

古川質問

ひとり税理士事務所が生き残るにはどんな工夫が必要ですか

ChatGPT 回答

ひとり税理士事務所が生き残るためには、以下のいくつかの工夫が考えられます:

◎デジタル化への対応:

現代の税務環境はデジタル化が進んでおり、クラウド会計ソフトや電子申告が一般的です。これに適応するために、デジタルツールの活用やオンラインでの業務提供に対応することが必要です。

◎専門性の構築:

独自の専門性を構築し、特定の分野や業界に特化することで、競合他社との差別化を図ることができます。クライアントにとって有益な専門知識を提供することが重要です。

◎顧客満足度向上:

一人事務所であるからこそ、クライアントとの密接な関係を築くことができます。顧客の要望や課題に柔軟に対応し、顧客満足度を高めることが生き残るための鍵です。

◎効率的な業務プロセス:

業務プロセスの効率化は重要です。時間を有効に使い、クライアントへのサービス提供に専念できるよう、業務の効率向上を図りましょう。

◎ネットワーキングとコミュニケーション:

地域や業界のネットワーキングを活用し、他の事業者や地域社会とのつながりを構築することが大切です。コミュニケーションを通じて新規クライアントを獲得できる可能性が高まります。

◎教育と情報共有:

税務法や規制は変わりやすいため、常に最新の情報を把握し、クライアントに提供できる価値を保つために教育を受けることが必要です。

◎マーケティングとオンラインプレゼンス:

インターネットを活用したマーケティング戦略を構築し、オンラインでの存在感を高めることで、新たなクライアントを引きつけやすくなります。

●これらの要素を組み合わせ、独自の強みを活かしてクライアントの信頼を築くことが、ひとり税理士事務所の生き残りにつながります。



(浜離宮にて)

すごい回答があつという間に出てきました。確かにすごいです。しかし使う者がしっかり確認していくことが大事だと思います。あと文書に温かみがないように思いました。AIなのでこのようになるとは思いますが、人間がどのように使いこなすか、その能力が反対に試される気がしました。

とにかく AI の進歩には驚きました。

以上が感想です。



(湯来亭にて)